

## ごあいさつ

令和2年。新型コロナウイルス感染の猛威で、社会全体が今まで経験したことのない状況となり、学校も3月から臨時休業となりました。令和2年度の平野小学校入学式もどうなるかと思われましたが、何とかその日を迎えることができました。学校教育目標「明るく強くむつまじく」の具現を目指し、児童495名 職員45名で、創立147年目をスタートしました。子どもたちも新しい学年を迎え、新たな気持ちで取り組んでいこうとしていました。ところが、1週間でまた臨時休業。そして全員登校は、6月に再開されました。

約2か月の間、子どもたち、保護者、地域の皆様には、予定の変更、コロナウイルス対応など急な連絡にもかかわらず、ご理解・ご協力をいただきました。改めて学校とは、たくさんの方々によって支えられて成り立っているということを感じました。

子どもたちは、学校生活において少しずつ日常を取り戻してきています。久しぶりの学校で友だちに会えてとてもうれしそうなお顔をしている子、ひとりで勉強しているよりみんなと勉強するほうが楽しいと話す子。友だちや先生と一緒に学ぶことのできる学校のよさを改めて感じる機会となったと思います。今まで当たり前できていたことは、実はとてもありがたいことなんだと感謝できるといいですね。私たちも同じです。子どもたちとすごせる学校のよさを見つめ直し、指導に当たっていただけたいと考えています。

本年度の平野小学校の目指す学校像目標は「笑顔と希望あふれる平野小学校」です。また、児童会スローガンは「元気なあいさつ 明るく楽しい 平野小」です。徐々にではありますが、目標に向かっての活動が始まっています。

さて、本校の前身「公立小学校『愛育学校』」創立は、明治6年。「6歳～13歳の児童生徒455人が収容された」と記録にあります。147年の時を経て、学校も地域も大きな変貌を遂げています。隣接する「江部交差点」は県内でも有数の交通量です。こうしたなか、「交通安全推進対策会議」「あいさつ安全子どもサポート平野」「平野地区青少年健全育成会」「平野小学校PTA」等が連携し、子どもたちの登下校の見守りをはじめとする、安心安全対策を講じていただいています。

4年目を迎える『ひらのっ子応援団』（信州型コミュニティースクール）は、安全支援部、学習・生活支援部、環境整備部、生涯学習支援部の各部に、ボランティア団体様、また日常的に多くの地域の皆様が、本校の教育にかかわってくださっています。心より厚く感謝を申し上げます。

今後の状況も踏まえながらですが、今年度も、子どもたちの豊かな心の醸成や確かな学力・体力の定着のために、地域と学校そしてPTAが手をつなぎ、一つの輪になることを目指していきたいと考えます。引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。

令和2年6月

学校長 若林 幸裕